

～新港地区客船ターミナル(仮称)等整備事業～

ヨコハマ ハンマーヘッド プロジェクト

「YOKOHAMA HAMMERHEAD PROJECT」

着工のお知らせ

横浜市がみなとみらい 21 新港地区において推進する「新港地区客船ターミナル(仮称)等整備事業」(以下、本事業)において、建築工事に着手いたしましたのでお知らせいたします。本事業は、事業予定者として選定された「(仮称)Yokohama Pier9」の構成企業が中心となって設立した「新港ふ頭客船ターミナル株式会社」(以下、新港ふ頭(株))が推進するとともに、着工に合わせて事業名を「YOKOHAMA HAMMERHEAD PROJECT※1」へと改称いたしました。

また、本工事は、横浜市と2018年3月30日の事業用定期借地権設定に関する合意書締結を経て今般の着工に至りました。今後は客船ターミナル施設(以下、CIQ 施設※2)を中核施設とし、「食」をテーマとした体験・体感型の商業施設、海に面した埠頭の立地特性を活かした高質なホテル※3を一体的に整備し、竣工は2019年を予定しております。



完成予想パース (現在計画中の為、今後変更になる可能性があります。)

- (※1) 1914 年、新港ふ頭の先端に横浜港第一号の「ハンマーヘッドクレーン」が設置され、日本初の近代的埠頭として横浜港の中心的役割を担ってきました。現存するこの「ハンマーヘッドクレーン」を囲む本事業用地は、歴史ある風景“荷役の歴史”を継承し、また新たな文化や価値“大型クルーズ客船のターミナル”を生み出す場所として再出発いたします。本事業はその歴史遺構として残る「ハンマーヘッドクレーン」を名称に取り入れ「YOKOHAMA HAMMERHEAD PROJECT」と命名いたします。
- (※2) CIQ 施設 : Customs (税関)、Immigration (出入国管理)、Quarantine (検疫) を行う施設。
- (※3) ホテル部分は株式会社 T・Y ホールディングスが整備し、区分所有いたします。

【地図】



この地図は、国土地理院発行の地理院地図（電子国土 web）をもとに新港ふ頭(株)が作成したものです。

【完成予想パース】



完成予想パース（現在計画中の為、今後変更になる可能性があります。）

【起工式の様子】



【計画概要】

所在地	横浜市中区新港 2 丁目 14 番 1
最寄駅	みなとみらい線「馬車道」駅 徒歩 10 分
敷地面積	約 17,400 m ²
規模	階数：地上 5 階建 延床面積：約 30,290 m ²
用途	CIQ 施設（1F）、商業施設（1～2F）、ホテル（1～5F、客室数約 200 室）等
今後の予定	2019 年 供用開始
設計	株式会社梓設計
施工	五洋建設株式会社

【参画企業】

（代表企業）

■株式会社横浜岡田屋

・本社/代表者：神奈川県横浜市/岡田 伸浩

（以下、構成企業）

■株式会社小此木

・本社/代表者：神奈川県横浜市/小此木 歌藏

■藤木企業株式会社

・本社/代表者：神奈川県横浜市/藤木 幸太

■川本工業株式会社

・本社/代表者：神奈川県横浜市/川本 守彦

■京浜港ワッチマン業協同組合

・本社/代表者：神奈川県横浜市/栗竹 俊幸

■株式会社 T・Y ホールディングス

・本社/代表者：神奈川県横浜市/堤 猶二

■株式会社横浜グランドインターコンチネンタルホテル

・本社/代表者：神奈川県横浜市/梅村 東

■野村不動産株式会社

・本社/代表者：東京都新宿区/宮嶋 誠一